

●11月の市内交通事故 発生件数19(249)、死者2(13)、負傷者22(307) ()内は1月からの累計



水と緑と土を考える史跡めぐり
国分寺と龍神山を視察

水と緑と土を考える史跡めぐり

12月3日、石岡くらしの会と石岡生活学校ゆずり葉の会員約30名が、史跡めぐりをしました。参加したメンバーたちは、常陸国分寺跡の中雀門、七重塔の心礎、龍神山、染谷佐志能神社の十二座神楽などを見ながら、地域の自然環境の現状を視察して回りました。



1月15日号

目次



ニューイヤー座談会「めざせ/クリーン石岡」	2P
市民提言	7P
塚原議長に聞く	8P
スポーツ情報	9P
国勢調査速報	9P
情報ネットワーク	10P
まちのできごと	12P



▲石岡の風景④ 冬の尼寺ヶ原史跡公園

ニューイヤ―座談会「めざせ！クリーン石岡」



▲座談会の会場は、龍神山麓の“常陸風土記の丘”にある江戸時代直屋の佃炉裏ばた。左から小野君代さん、山本吉蔵市長、成島由美さん、斉藤浩さん。街の緑化とゴミ問題について語り合いました。

今年みんな 環境を考えよう

花と緑の街づくりや都市公園など、市内の緑の居住環境は次第に整備されています。一方、クリーンな街を目指す石岡市でも、ゴミ問題が大きな課題となっています。家庭からのゴミの量は、この十五年間で二倍以上。今回のニューイヤ―座談会では、街の環境美化とゴミ問題をテーマに、常陸風土記の丘の江戸時代直屋で、市長と市民三名の方々に語っていただきました。

公園が増えたが 緑は減った

斉藤 あけましておめでとうございます。

今日はニューイヤ―座談会として「めざせクリーン石岡」という、身近なことでありながらなかなか難しいテーマについてディスカッションしたいと思います。

石岡を美しくする街づくりと、年々増大するゴミの問題の二点。両極の内容になるかと思いますが、まずは、山本市長から美しい街づくりと毎日の生活に密着したゴミ問題についてお話し願います。

山本 最初に新年度の大きな目標として考えられている「グリーン石岡」について基本的なことを申し上げます。

過日、美化クラブの緑化コンクールを開催して、数グループに感謝状を差し上げました。市民の皆さんは花と緑について、五年前・十年前に比べて格段に関心

を持っています。新聞やテレビで、地球全体の空気や環境が汚染されていると報道されています。緑は人間生活に欠かすことのできないものです。合わせて「花と緑」を増やして生活環境を豊かにしよう。心を豊かにしようと自然な盛り上がりが出てきました。

「花と緑の街づくり」は単年度ではなく、継続的にしなければなりません。事業全体は、花の種を配ったり、緑化運動にご協力いただいた方へ感謝状を差し上げたという地味なものでしたが、今年もつと盛り上げようと考えています。

もう一つがゴミ処理の問題です。石岡市では多い日に百トンを超えてしまう膨大なゴミが出ています。これは、経済問題にも関係がある大きな課題ですが、リサイクル、焼却残渣の処理にはどうしたらよいのか。

デンマークのコペンハーゲンでは、ゴミを五種類に分けています。リサイクル

のできる紙の材料となるもの、あるいはアルミ缶、鉄、陶器類、ビン・ガラスなど。このシステムが完備できれば、焼却残渣がほとんどゼロになると思います。焼いた残りが、現在の石岡では、約三十％あります。百トン処理して、なんと三十トンも焼却残渣が出てしまう。

ですから、市民の方に協力いただいで、ゴミの袋を種類別に色分けして、例えば黄色は空き缶、赤はビンというようにしたいんです。ガラスやビン、古い紙というように、せめて数種類に分けてもらいたい。これは、行政で笛を吹いても、市民の方が協力してくれなければ、何にもなりません。各家庭に配布し、この袋を使ってもらおう。

そこまでしても、焼却残渣の処分を考えると費用はずっと安い。しかも、クリーン作戦にはもってこいの処置なんです。斉藤 まず、緑の環境保持、さらには美しい石岡の街づくりという観点で、成島さんの若い目から見ていかがでしょう。

成島 物心がついたところから今にかけて、緑のことで心に残っていることは公園が増えたことです。大きな所ですと柏原公園・国府公園、最近のステーションパーク、南台のせせらぎパークなどがあります。これらの公園が、私が物心ついてから今日までにだんだん出来て、水とか緑とか美しいものが増えてきたことは、石岡の市民の意識も行政の意識も、水と緑に関して前向きになったのだと思います。斉藤 私の立場で申し上げますと、非常に大きく変わったことが一つあります。四十代、五十代の年齢の場合、小さいころ水に親しむときは、天然の水に親しんだわけです。泳ぐにしても、霞ヶ浦で泳

ぎました。川遊びもしました。今の子供たちは、川遊びなるものを全然しません。その大きな元である水。石岡の場合ですと、恋瀬川が一番大きな川です。あの恋瀬川で遊ぶ子供たちの姿はほとんどない。たまにサイクリングをするお父さん、ジュネレーションの感覚としては、ごく身近にある自然を遊びの道具として、そこから幼少期のいろいろな感覚を養ってきたといえます。恐らく成島さんの世代は、そういう経験なしに成人したのではないかと思っています。



▲小野君代さん

いお屋敷で森があり、そこへ遊びに行つた。どこの家にも樹木があつたんですよ。斉藤 ケヤキの木が多かつたんですね。小野 だから、市の木がケヤキですね。山本 門弥さんといったんですよ。その前にお茶畑があつたね。小野 どこへ行ってきたのと聞かれると、門弥さんで遊んできたのと答えたものです。どの家の周りにも木が多かつたんですが、最近はその家が建ち、屋敷に木

がなくなつたということは、寂しい感じですね。

斉藤 樹木が多かつたということですが、例えば道路を考えてみます。陸前浜街道が石岡を通るところは、それこそうっそうとした大木が道路の両サイドをうめていました。現在残っている一里塚などどこにあるか分からないくらいに、その周辺は高い杉木立が道をおおうようにそびえていました。

私が小学生のころ夏休みには、ちよつと街から外れるとカブト虫とか桑の実とか、器にいっぱいになるほど獲れて自然と親しむことができました。

成島さんの感覚ですと、公園が多くなり憩いの場ができ、目が和むということ。私たちの二十歳前の幼少期は、それは当たり前のことでした。まぎれもなく地方石岡においても、何十年の間に都市化が進んでしまったのです。

子供たちに緑を 育てる心を

山本 行政がする仕事というのは、作ることに費用を充てるのはあまり抵抗を感じない。しかし、緑の場合でいえば植栽はいいが、その後のフォローがダメでした。その反省に立って、いま緑を増やそうとしています。

成島さんのように若い方は、前より増えたとおっしゃいますが、もともと増やさなければなりません。ロータリークラブ、ライオンズクラブ、87ロータリークラブ、青年会議所、高浜地区の皆さんがいろいろなことをしてくれていますが、アジサイを植えてくださった。高浜

ニューイヤー座談会出席者プロフィール(敬称略)

● 斎藤 浩(49)

石岡87ロータリークラブ会長・斎藤病院院長。石岡ラグビースタールの会長として、少年ラグビーを通じて青少年の健全育成に長年尽力を続けている。

● 本日の進行役

● 成島 由美(20)

市民記者・石岡市のキャンペーンレディ。東京女子大3年生。

常陸風土記の丘、市運動公園体育館、石岡ステーションパークなどのオープンにさきがけ広くPR活動を行ってきた。

● 小野 君代(69)

石岡くらしの会会長。昭和61年4月から、石岡くらしの会の会長をつとめ、ゴミの減量・資源のリサイクル・消費生活問題など主婦の立場からの環境問題に取り組んでいる。

● 山本 吉蔵(68)

石岡市長。21世紀への街づくりを目指し、石岡駅周辺の整備、花と緑のまちづくり事業、運動公園の整備、フロールシティ南台の整備促進などを手掛けてきた。

の土手に桜並木を作ろうと桜を植え、回りにもアジサイを植えました。高浜の湖岸にコスモスの種を播いて、きれいな花が咲きました。一輪一輪は可愛いですが、ぎっしりと土手にあるとみごとなものですね。

小野 群生というのも美しいですね。山本 一年だけではなく、毎年繰り返し



▲緑豊かな八郷町青柳地区に捨てられた産業廃棄物の不法投棄現場。手前の穴に汚水が見えます。

てこそ定着します。後の手入れをいくことを、費用を計算してやっていかなければならないと思っています。

斉藤 部分的な景観の保持と美化と、個人個人が身の回りで緑や花を慈しむ態度とがうまくかみあわないと、街全体で花と緑を愛する市民が、すばらしい街をつくっていくことに結びつきません。

小野 今朝こちらへ来ましたら、お年寄りの団体がいらつしゃってました。どちらからですかとお伺いすると、東京からということでした。そのとき、このように訪れた方が家へ帰っても、印象に残るような街づくりをして、市全体が脳裏に残ってくればいいなと思っただけです。

というのは、私は海外旅行が好きなんです。外国のいろいろな都市を見て感じるんです。家それぞれがやるという点から、ニュージージラントのクライストチャ



▲斉藤浩さん

ーチという街では、一軒一軒がお庭を作って年二回春と秋にコンクールがあるんです。ニュージージラントではあの街が、

カナダではバンクーバーが花できれいだった。隣のビクトリア島で老後を過ごす方々がお花を大切にしていたというように、心に残る美しさ、あの町はこうだったと印象が残っている。

山本 ニュージージラントのように屋根の色を規制したり壁の色を規制するところもありますね。この界限は建物の壁は白、屋根は青にしよう、一定にしよう。あるいは、地中海などの壁は真っ白ですね。そういうことまでしているというところ。我々も発想の転換をして全体の美感を考えねばならない時代に入っていると思うんです。

成島 東京から友達を連れて石岡に遊びに来ると、昔は田んぼだった牛久や佐貫もニュータウンになってしまっ、常磐線で東京から石岡へ向かったとき、実際に田んぼが開けてくるのが高浜からなのです。あの高浜の緑を見ると、「うわー、すごい。こんなに田んぼがあつて」と、キャーキャー騒ぐんです。見たことのない人たちにとっては、緑というのは珍しいものなんです。



▲成島由美さん

東京では、八王子の山の方へ行くと田んぼや畑がありますが、私の通っている杉並区では家々が隣接していて、門から玄関に入るちよつとところに鉢植えを置く程度の緑しかないんです。みんなそのような家から学校へ通っています。私は家に帰ってくれば緑がある。フローラルシティでも家の周りでも、まだこれだけの緑があるのだという安心感があるのです。東京と比べればまだあります。

私も海外に何度か出掛けていますが、市長や小野さんのような感覚は、全くいっていない感じがした。花があるというのは分かっていましたが、こうしなければいけないという意識はあまりなかったのです。多分私だけではなく、私の世代の人間は環境をよく考えてはいないのじゃないかと思っています。

斉藤先生がおっしゃったような、恋瀬川で泳いでいる風景を見たこともないし、石岡に森がたくさんあったことも分かりません。このような世代の差をいま非常に感じています。

二十一世紀に、私は三十一歳になるわけですが、二十一世紀に向けて、私たちが緑をもっと増やしていくためには、私たちの世代がいろいろな知恵を受け継いで、意識を高める必要があるなと思いました。

花と緑の「目」を減らす

斉藤 若い感覚といいますが、成島さんよりもっと若い人について驚いたことがあります。以前ボイススクアウトの代表が、石岡からオーストラリア・ジャンボリーに出掛けました。シドニーの近くの森でジャンボリーが行われました。テントを張るにしても、枝一本でもロープを結んではいけない。一切枝とか木を伐るな。穴を掘るなというように、あちらの子供たちは、自然環境の維持に細心の注意を払っていました。

緑豊かな日本といわれていますが、案外私たちはそういうことに無頓着なのではないかと思っています。

山本 私は心配な気がするんです。というのは、花屋さん、花木センター、植物センターに、小さなお子さんを連れた若い夫婦が、日曜・祭日はワンワンと押し掛けています。ある意味では生活が豊かになったという気がしますが、やはり、花に魅力を感じ、緑の木に魅力を感じてきたという大きな流れがあるような感じがします。二十一世紀になったら、もっと花と緑が石岡に溢れる気がします。

斉藤 成島さんは、花や緑が溢れている外国の町並みを見たときに、あまり羨ましいと感じなかったと言いましたが……。

成島 これを実現しなければとまでは、考えていませんでした。

これは、外国だからこうなんだ、日本とは違う。外国はどちらかといえば花ですが、日本はどちらかといえば木が多いんです。目の前に花を並べるのは外国だ

からかな? という文化の差のようなもので見てしまいます。

小野 きれいにしているのを見ると、私も自分の家で作ってみたい、並べてみたいという気がします。街路樹を見ると、石岡にもこんなにきれいな街路樹があったらと思います。その都市都市で種類も様々です。

足利市はハナミズキ。栗田美術館へ行ったとき、赤と白のハナミズキの花がすばらしかったんです。その都市を印象づけるような花や木があったら、石岡にも街路樹がもう少しあったらと思うんです。

斉藤 私自身は、成島さんの世代の感覚が分からなくもないんです。日本を振り返って見たとき、京都——あのおびただしいお寺や神社があつて、それぞれに庭をもっている。随所にすばらしい庭園を見ることができる。ちょっと歩けばそれに接することができます。成島さんの「外国は花、日本は緑」であれば、根源に流れるものは、自然を尊びみんなで大事にして楽しんでいくということでしょう。

山本 二番目のテーマになってしまいますが、県内二十市の市長が集まったとき、緑や花を増やそうということよりゴミやし尿処理をどうしようという話が出ます。地権者の同意が得られない、迷惑施設だから仕方がないという話が出ます。地方自治体としての最大の関心事となっています。

しかし、花と緑を前面に出すことこそが、ゴミを少なくする大きな方策だと思います。クリーン作戦と両面作戦をすることが相乗効果を生み出すと思います。**斉藤** テレビでも取り上げているカーソン女史の「サイレント・スクリーン」と

いう本が、自然破壊を警告しています。本の冒頭に「ある朝目覚めたら、小鳥のさえずり声が聞こえなかった」という文が出てきます。

一つの生命サイクルとして、そのリンクが切られている。それは、直接公害問題と結びつくわけです。鳥がいなければ鳥が運搬する種がなく、鳥が食べている昆虫がいないと……。

農業などの問題もあります。花と緑を維持するための農業や限られた空間としての公園を考えると、地球という大きな環境から外れている。生物の生存サイクルの中の一つが花と緑であり、その前後のリンクを同時に考えなければ、本当に花と緑を愛することにはならないと思う



▲山本吉蔵市長

んです。

幼少のころ石岡でカブトムシがいくらかでも獲れたと言いました。ちょっと前、東京のデパートでクワガタやカブトムシが高い値段で売られていた。こんなバカなことがあるんだね、と言ったものでした。しかし、今石岡の子供たちは、それを味わっている。これは、大きな問題だと思います。

昔は恋瀬川や高浜でフナやコイを自由に釣ることができましたが、今はほとんどできません。花と緑を論ずる場合、大

きなリンクの問題も同時に考えていかなければならないと思います。

山本 野鳥を保護しようという県単位に野鳥の会があります。石岡にも支部があり、開発が進んで野鳥の棲息地が減ってしまったので森を保存してほしい、という陳情を受けました。

花と緑の運動と同時に、緑化運動も一連の流れです。前端的に両輪を進めていかなければならないと思います。

斉藤 先生がリンクと言ったように、この時点からでも循環を維持する努力をしなければ、どこかで切られてしまいます。

小野 小野さんが日頃取り組んでいる問題ですが、「要らないものイコール、ゴミである」という感覚が大きな問題です。企業としても、要らなくなるものを多く買わせ、要るものをまた多く買わせるという感覚となり、大きな問題になります。

小野 私個人としては、物を捨てる場合に何かに役に立たないかと考えてみます。

本当に捨てるものは処理しますが、また役に立つ物は、自分の暮らしの中で役立てます。

斉藤 言い換えれば、ゴミを出さないといいことです。

小野 そうです。なるべく少なくして、どうしてもゴミになるものだけを出すようにしています。市民一人一人がそうやってくれれば良いと思っています。

スイスのチューリッヒでは、リサイクルなどの問題を取り上げて教える特別な先生がいるそうです。小さな子供のころから教えた方が良いと思うんです。

「ゴミは不要物と不用品」

斉藤 成島さんの世代でゴミというものをどう捉えていますか。ゴミとは何か? **成島** 不要なものイコール、ゴミと思っています。

斉藤 やはりギャップがありますね。成島さんの世代では、要らないものはゴミであるという感覚で生活している。では六十代を超えた方にとってゴミとは何ですか?

小野 ゴミとは、どうしても再生できないもの。私たちは、戦争時代の物不足を経験していますので、そう感じるのです。あの物のなかった時代、ない中でより良い暮らしをするためには、いろいろ考えた上で暮らしに取り入れられました。燃えるものでも、庭の肥料に使ったり、捨てるものを少なくしました。



▲燃えないゴミの選別は手作業です。

斉藤 不要なものではなく、資源ということで考えてみるとアルミニウムの場合、再生に必要なエネルギーは、原料のボーキサイト鉱石から生産する場合の五％で済みます。鉄鉱を完全にスクラップから作る場合には、三分の二のエネルギーが節約される。新聞紙を再生紙から作ると、木材パルプから作るよりも約五十％のエネルギーが節約できる。ガラス容器のリサイクルは、約三分の一、ということは、これを単に焼却したり埋立するということとは、資源の無駄使いだけでなく、大気や土壌や水の汚染問題に引き金を引きまします。不要なものという感覚を大きく変えていくことが、環境保全と資源節約に重要です。

分別収集でリサイクルし、どうしようもないものをだけ焼却する。ただ焼くといつても、膨大なエネルギーを使い人件費も無視できません。

そして、多くの市民の方は、あまりゴミを重要視していない。ここに問題が横たわっているような気がします。

山本 ゴミの処分は、道義的な問題までからんできます。よその町内に捨てたり、市外から捨てに来たりということまであります。リサイクルできるもの、少ないエネルギーで再生できるものは、資源のない日本なのですから、石岡でも率先して再生したいですね。

そうすれば、焼却残渣の問題や大量に出るゴミの量が減り、過剰包装も減ってくると思います。今は、すごく過剰包装だと思っています。

斉藤 去年の十一月ごろ青森で一個十一万円のリングが出来たという新聞記事がありました。これは、非常におかしなこ

とだと思っています。これは、なるべく高い値段で売れるものを生産しようとするわけです。お金にならなければだめというわけです。安くよいものを提供しようという根本的で人道的なものの考え方と遊離して、なるべく高いものをいっばい買ってもらって、お金をもうけた方がよい。農業でも、より安く、どんなに困っている子でもいっばいリングが食べられるようにという感覚がなくなっています。リングの玉回しという言葉があります。なるべく高く売るために、一家総動員でクルクルとリングを回して日光に当てます。加えて、地面には銀紙を置きます。それで一個十一万円のリングが出来たということは、情けないことだと思います。それよりも、一個五円、十円のリングがいつばい出来て、子供たちがおいしく栄養のあるリングを食べられる方がずっといいでしょう。

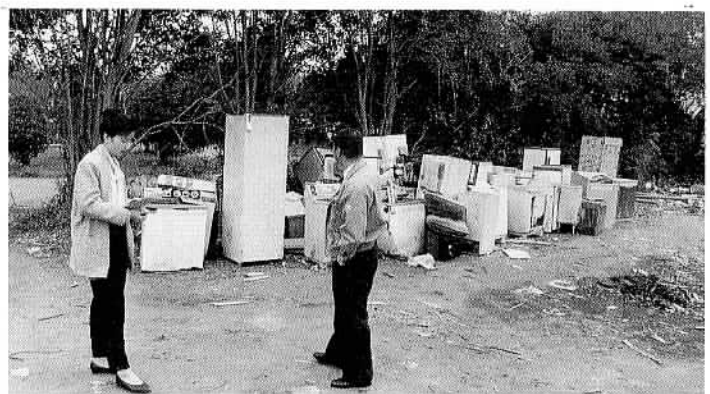
リサイクルの電化製品

山本 日本人は、ブランド物に非常に神経質です。外国人は、それよりも質にこだわります。日本人は、見栄っぱりなんですかね。それが、過剰包装につながるでしょう。

斉藤 無形ものを尊ぶあまり、有形の不要感覚のものを賛成してしまう我々の生活自身に矛盾がありますね。

小野 外国では、そんなに包装してくれませんか。特別にプレゼントというと、包装の代金を取られます。日本のような過剰包装は、他の国にはありません。
斉藤 食べ物もそうですね。今グルメ番

組が多いですね。若い娘さんたちのデパートの場所は、特別なものを食べるころ。



▲ゴミ処理場にあふれる電化製品。

キュウリにしても、スタイルがよくて色が良くなくとちや値段が低い。質は同じでも曲がったものは、捨てられてしまう。

そのような感覚が、ゴミ作戦にとって障害となっているという気がします。市民一人一人が、意識改革をしてゴミと取り組まなければならない。そのためには、日本全体が、何を必要としているのかを問ひ直さなければ、根本的な改革にならないと思います。行政段階だけでは、いくら言っても右から耳に入って左へ抜けてしまう。

成島 昨日ゴミ処理場を見してきました。小学校四年生のとき見て、その後行ったことがありませんでした。ピンを仕分けしていました。透明のもの、グリーンのもの、

の、黒いもの、茶色のもの……。

行政、婦人、地域で運動をしている方は、ゴミ処理場の現状を知っているとありますが、一人でも多くの人に知ってほしいんです。全然関心のない方が問題だと思ふんです。

クレーンでゴミを上げている部屋は汚くて汚いということなど。裏側の部分を知ってほしいんです。

ゴミを捨てる。ゴミ集積場で市民とゴミは別れるわけですが、どういう経路でゴミ処理場で分けられているのか、どのように処理され、最終処分がどうなっているかということを、一人でも多くの市民に知って欲しいと思います。

山本 今計画中なんです。新しいゴミ焼却炉を建てようとしています。処理場は十年以上経っていて、老朽化しています。今は、何処へ行ってもきれいですよ。ですから、逆にこの汚く臭い現状を見てほしいですね。そうすれば、市民の皆さんの同意もいただけると思います。不燃ゴミを手による選別のみではなく、オートメーションで区分けできる機械も導入できます。冷蔵庫や洗濯機も碎いて、資源回収できる施設が、平成六年末には完成する予定です。

斉藤 都市行政は、ゴミ処理という問題を中核にすえて未来を捉え、それを最前面へ押し出していかなければ、良い方向に向かない。

大都市は地方へゴミを捨てにいく。自分のところで処理するのではなく、ゴミを移動させているだけである。子供に命ずると、家の中の掃除は押し入れに突っ込むだけで、本当の処理になっていない。私たちは、物をどう使うかということ

まで遡^{さかの}ってゴミ問題を考えなければなら
ない。これは、花と緑ということにもつ
ながることです。

第一に我々は、必要でないものはなる
べく使わないようにする。

第二に、再使用できるかどうかを考え
直す必要がある。

三番目は、要らなくなったものは、どう
いうレベルで要らなくなったのかを考え
て、リサイクルに回すべきです。これは、

市民提言「ゴミの減量を考える」

不用になる物を家庭に持ち込まない

●村田きみ江(42) 東田中
ゴミが出ないよう、必要最
ます。家屋が比較的密集して



小限の包装でしか品物を買わ
ないようにしています。食品

はできるだけバラ買いをし、
袋を差し上げましょうかとお
店でいわれたときは、断わり
ます。家庭内に不用なものが
増えないよう、自分にできる
ことから実行しています。

出ってしまったゴミは、埋め

らなくなってきた現在の現状は
残念です。

牛乳パックの回収も行っ
ていますが、せめて学校だけ
でも、牛乳ビンになればと思
います。テスト用紙や紙類の
節約も学校ぐるみで進めてチ
リ紙交換などに出せば、子供
たちも資源の再利用を心掛け

資源の確保・エネルギーの節約、環境汚
染を抑制するということで特に重要なこ
とです。

四番目は、安全ならば捨てられる。た
だ捨てるのではなく、燃やすということ
で新たなエネルギー転換をしていく。と

いう四つの大きな認識を市民一人一人が
持てば、明るい展望がでると思います。
成島 ゴミ焼却炉は、十年以上経ってか
なり痛みました。反比例して、公園が増

るようになります。日本は紙
の資源のないところですから

……。母親自身も家庭から資
源の節約を伝えていかなけれ
ばなりません。資源を大切に
することは、大きな運動とい
うより、小さな静かな意識と
して長く伝えていくものだと思
います。

食品を売る立場・作る立場
からは、もうちょっと違った
商品提供をする時期になって
きたのではないのでしょうか。

市民提言「花と緑の街づくり」

地域の美化はまず足元から

●桜井 忠一(62) 府中3-11
私は「美しい石岡をつくる
市民の会」の会長を今日まで



る所、足元から始めなくては
なりません。それぞれの家の
前の道路から美しくしてい
かなければと思います。

中でも市内商店街は、率先
して美化に心掛けてほしいと
思います。大勢の人が通り目
にする場所ですから……。

昔は誰もが早く起きて、道

えました。花や緑は目につく表の問題で
あり、ゴミは目につかない裏の問題だと
思います。どうしても私たちは、必要な
ものは近くに置きたいが、必要でない都
合の悪いものは遠ざけたいと思ってしま
います。

ゴミ処理場の所長さんに聞いたのです
が、ゴミの最終処分地がほとんどなく、
本当は市民の皆さんの協力で用地が欲し
いという現状だそうです。公園は欲しい

が、残りのものは近くに置きたくないと
いうエゴイズムが、今の世の中の醜い部
分を作っているのではないかと思えまし
た。

斉藤 生きているもの、花、緑、人間、
ものに対して愛情を持って、豊かな自然
環境の中で楽しく生きていくためにはど
うしたらよいかと私たち一人一人がもう一
度、今年は考え直してみてもいいのでは
ないでしょうか。

路をホウキで掃いていました
が、今はその当たり前のこと
ができない世の中になってい
ます。

やっぱり環境美化は、みん
なで協力し合ってやるべきで
す。一人一人の市民の自覚が
大切です。

緑化は、花と
緑の街づくり懇
談会が桜の苗木
を数百本植えて
います。桜はパ
ツときれいに咲
いて、緑のシン
ボルともいえる
存在です。

国分寺や龍神山周辺の史跡
の桜もだいぶ老木になってい
るので、新しい苗木を植える
時期としては良いタイミング
でしょう。

街並みもブロック塀でなく、
生け垣や樹木が増えるように
なれば、緑いっぱい街にな
ることが期待できますね。



▲花のまち「フローラルシティ南台」の街並み

新春インタビュー

塚原治雄議長に聞く

「今年は、地域ぐるみで地球環境を考える年といわれていますが？」

「石岡市では二十年前から環



の石岡をきれいな街にしよう
と心掛けてきました。
個人的には、自宅から出る
ゴミは朝早く起きて自家処理

カン類・ビン類の資源化、
食用廃油の石けんづくり、過
剰包装の簡素化など、環境問
題から起こった一連の動きが
活発になっていきます。外国で
買い物をすると、高級ネクタイも紙袋へ無難作に入れるだけですからね。

水を大切にすることも大事なことです。石岡市民は、地下水から日本でも一番おいしい水を飲んでいきます。水資源の大切さを知れば、それを涵養する緑を大切にする心が生まれます。私は庭にたくさん常緑樹を植えて、常に緑と接し緑への感謝を忘れないようにしています」

——新しい年の抱負は？

境美化クラブが、道路の空き缶や捨て看板を取り除いて街路の美化に努めてきました。私自身も、美しい石岡をつくる市民の会の一員としてこ

「昨年は、石岡市の平成の夜明けといってもいいほど期待される事業が始まった一年でした。今年はさらにそれらを

発展させるべく、議長として一生懸命市民のために尽くしていきたいと思っています。

周辺の町村に目を向けると、例えば千代田村の果樹園・八郷町のフラワーパーク・出島村の水族館など地域の観光開発と地域の特性発掘に力を注いでいます。

我が石岡市も、それに遅れないよう考えると共に、その基盤である水と緑を大切にすることを育てたいと思います。現代は、物ばかり見ていて心が乏しくなっている風潮にありますから。

最後に、平成二年は交通事故が多発しましたので、今年こそ無事故の年であることを祈ります。そのためにも、交通安全は家庭から、をモットーに、家庭で交通安全を話し合っていたきたいものです」

関川小学校



▶受賞した三村小学校の花だん

花と緑の環境美化コンクール

三村小が茨城新聞社長賞

第十八回「花と緑の環境美化コンクール」県中央審査と

地方審査が行われました。

次の団体が受賞しました。

《県中央審査表彰》

☆フラワールロードの部

茨城新聞社長賞

☆学校の部

茨城新聞社長賞

三村小学校

《地方審査表彰》

☆フラワールロードの部

優秀賞

三村白寿会第2環境美化クラブ

染谷区

☆地域・団体・職場の部

優秀賞

大砂環境美化クラブ

優良賞

六軒東環境美化クラブ

☆学校の部

優秀賞

三村小学校

ヤング・インタビュー

ひまわり談話室

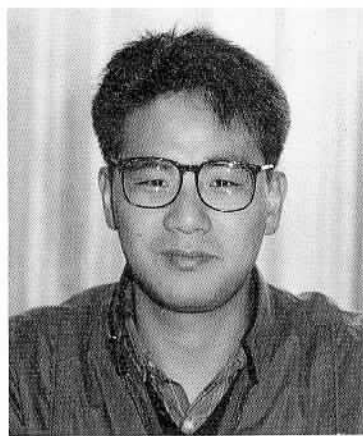
82

●大塚俊夫(28) 府中3-1-11
家業の大塚商事の仕事を始め、三年目の大塚さん。種苗・農業資材の小売り、日曜雑貨の卸売りが主な仕事です。

——仕事については？

「毎日車で、石岡近辺のお店、雑貨屋さんとか薬屋さんを回って営業をしています。一日平均百キロメートルぐらい車で走り回っています。

一年前に改装したお店には、農家の方が主に来るんですが、季節的なものがあるって忙しいときと暇なときがあります。後継者の問題などの影響もあるかも知れませんが、自己研鑽という意味で、石岡青年会議所に昨



「生まれ育ったところなので愛着があります。ですから、石岡市をひいき目に見てしま

年の五月に入会しました。

やはり様々な業種の人との交流とか全国的な広がりの中で、視野が広がったような気がします。現在は会員交流委員会に所属して、会員連絡とか家族交流の準備などをして

うのか、結構満足しています。市内の道路は整備が進み、運転しやすくなっています。六号バイパスが実現すれば、理想の交通網になるのではないかと思います。

「趣味・特技については？」

青年会議所の一員として、街づくりを考えると、アメリカの街づくりなどよその街づくりを参考に勉強したいと思っています」

スポーツ情報

秋季市民テニス大会

秋季市民硬式テニス大会が十一月十一日、秋季市民軟式テニス大会が十一月十八日、柏原テニス場で行われました。結果は、次の通りです。

〔硬式〕Aブロック

優勝 (男子) 尾方・坂本組

準優勝 (女子) 金沢・松塚組

準優勝 (男子) 沼田・伊藤組

準優勝 (女子) 山口・小林組

第三位 (男子) 関・関組

第三位 (女子) 星野・深谷組

〔硬式〕Bブロック

優勝 宮本・海老原組

準優勝 松川・久米組

準優勝 (男子) 中野・井沢組

〔軟式〕Aブロック

優勝 小島・志岐組

準優勝 金敷・石原組

第三位 木村・高畑組

〔軟式〕Bブロック

優勝 新田・吉川組

準優勝 菊池・丹治組

第三位 島田・小松崎組

バドミントン大会で

森・松信組が優勝

石岡市スポーツ少年団本部

長杯バドミントン大会が、十一月二十五日市運動公園体育

館で行われました。

結果は、次の通りです。

〔恋〕 恋南バドミントン

(東) 東少年バドミントン

(府) 府中地区バドミントン

(石) 石小地区バドミントン

〔四年男子の部〕

優勝 (恋) 金指・本田組

準優勝 (恋) 坂本・萩原組

〔五年男子の部〕

優勝 (恋) 坂本・片岡組

準優勝 (恋) 本園・宮脇組

〔六年男子の部〕

優勝 (東) 大山・酒井組

準優勝 (東) 小吹・高野組

第三位 (府) 真家・戸井田組

〔四年女子の部〕

優勝 (石) 渡辺・清水組

準優勝 (石) 森・長谷川組

第三位 (東) 小林・山口組

〔五年女子の部〕

優勝 (石) 田崎・岡田組

準優勝 (石) 渡辺・林組

第三位 (東) 茅野・小沢組

〔六年女子の部〕

優勝 (石) 森・松信組

準優勝 (東) 田川・井川組

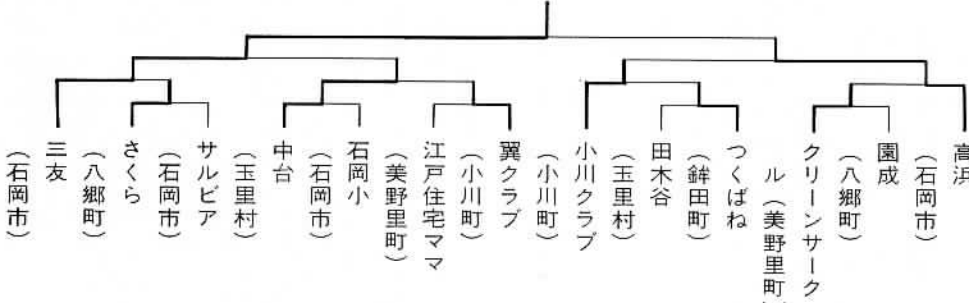
第三位 (石) 比気直・渡辺組

(石) 仲田・山本組

女子バレーボール大会で

三友クラブが優勝

第五回石岡市隣接町村親善バレーボール大会が、十二月二日市運動公園体育館で行われました。結果は、次の通りです。



国勢調査速報

国勢調査が完了しました。ご協力ありがとうございました。今回の調査の結果について

は、今後、総務庁統計局から順次公表されますが、石岡市の人口と世帯数についてあらかじめお知らせします。

■平成2年国勢調査 (10月1日現在)

実施年	人口	男	女	世帯数
平成2年	50,617人	24,896人	25,721人	15,022人
昭和60年	49,059人	24,066人	24,993人	13,895人
昭和55年	47,829人	23,371人	24,458人	13,369人



※平成2年のこの表の数値と、後日総務庁統計局で公表する結果とは異なる場合があります。詳しくは、市役所統計係へ。☎(23)1111内線223

期 間	増加数	増加率
昭和60年～平成2年の人口増加	1,558人	3.2%
昭和55年～昭和60年の人口増加	1,230人	2.6%
昭和50年～昭和55年の人口増加	4,150人	9.5%

暮らしのワンポイント 畳の手入れ

「凹みは蒸して膨らます」張り替えたばかりの畳は気持ち良いものです。気になるのは、重い家具を置いた跡にできる畳の凹みです。さすっても簡単には元に戻りません。頑固な畳の凹みは、アイロンを当てると、意外に効果があります。まず、畳の凹みに霧を吹き、その上にタオルまたは固く絞ったぞうきんを凹みに乗せて、アイロンを当てます。何度もアイロン当てを繰り返すと、凹みが直ってきます。つまり、畳の凹みを蒸して膨らませるわけです。

畳についた湿ったホコリや汚れは、ぞうきんでふき取らなければいけません。バケツ七分目ぐらいのお湯に酢を一杯ほど入れ、ぞうきんを固く絞って畳の目に沿ってふきます。酢は、畳の黄ばみを取るのに効果的です。強くゴシゴシふくと畳を傷めます。軽くふくのが汚れ落としのコツです。また、約五個分のミカンまたはレモンの皮を、十五分ぐらい煮ます。その煮汁を入れたお湯で、ぞうきんを固く絞り、軽く畳をふきます。このような方法で、月に一度は畳をふいてやりたいものです。

情報 ネットワーク

市民記者を募集します

市報づくりに参加しませんか
◆応募は18歳以上の方ならど
なたでも。

◆仕事は、年2回の市民記者
レポート執筆と年3回の市民
記者会議の出席。

◆任期は、4月～来年3月ま
で。6名募集。

◆応募する方は、2月15日ま
でに、お申し込みください。

※申し込みと問い合わせは、
市役所広報広聴係へ。

☎(23) 1111内線212

健康教室が開かれます

■日時 1月29日

午後1時30分～3時

■場所 三村農業協同組合

■演題 「成人の病氣と食事」

講師・芹沢雄二 先生

■講話のあと、保健婦による健
康相談・血圧測定を行います。

■入場無料

※詳しくは、石岡メデイカル
センターへ。

☎(24) 1386

手をつなぐもの

の作品展

第28回手をつなぐもの作
品展を開催します。小・中学
生の手芸、絵画、版画などの
作品約五百点が展示されます。
是非ご覧ください。

★期日 1月12日～16日午前中

★会場 コーキンヨッピングブ
ラザ4階催事場

——石岡市新治郡教育研究会



農地問題相談所を

開設します2/7

農業委員会では、農地問題

市役所	☎231111
市民会館	☎225187
図書館	☎241507
府中地区公民館	☎241530
東地区公民館	☎266503
城南地区公民館	☎263341
福祉会館	☎222940
テレホンサービス	☎233333
運動公園体育館	☎267210
常陸風土記の丘	☎233888

相談所を開設します。この相
談所では、農地の農業的利用
や非農業的利用（宅地化・開
発）、農地に関わる税制度、農
業者年金制度など、農地に関
する各種の問題や心配ごとを
対象とします。

この機会に是非ご利用くだ
さい。

◆日時 2月7日

午後1時30分～3時30分

◆場所 市役所2階会議室

※詳しくは、市農業委員会へ

☎(23) 1111内線162

学生の皆さん！国民

年金に加入してますか？

——学生の方も4月1日から
強制加入になります——

国民年金制度は、原則とし
て20歳以上60歳未満のすべて
の方が、加入対象者となつて
います。今までは、学生の方
は任意加入（希望すれば加入
できる）とされてきました。

このため、20歳以後の在学
中に、交通事故などで障害者

所得税の還付申告2/1・2・3

——サラリーマン、公的年金を受けている方——

◎次の方々は是非おいください。

- ・給与所得者で医療費控除などをなさる方。
 - ・公的年金などを受けていて、生命保険料控除など
がお済みでない方。
 - ・平成2年に中途退職した年末調整が済んでない方
- 2月16日からの申告書受付会場は大変混雑します。
この期間をご利用ください。

◎日時 2月1日・2日・3日

午前9時～12時、午後1時～3時

◎場所 市役所4階会議室

◎当日持参するもの 平成2年度分源泉徴収票。印
鑑。預金口座番号（還付金額の受取先）。

〔医療費控除〕平成2年中に支払った医療費の領収
書。保険金などで補てんされた金額。

〔住宅取得控除〕住民票、家屋の登記簿謄本または
抄本。売買契約書または請負契約書の写し。借入
金の年末残高等証明書。増改築の場合は建築確認
通知書または検査済証の写し、または増築証明書
〔その他〕年末調整のときに控除しなかった社会保
険料・生命保険料などの控除証明書。

※詳しくは、市役所市民税係へ。

☎(23) 1111内線112

動物なんでも相談室

昆虫、サル、ヘビ、ワニな
ど様々な種類の動物を飼う家
庭が増えています。しかし、
これらの動物を飼育していく
うえで、取扱方法、病氣など
についてよく分からないため
困っている方が多いようです。
県では、動物指導センター
内に「動物なんでも相談室」
を開設しています。動物と上
手に付き合っていくために、
動物のことで困りの時は、
「動物なんでも相談室」をご
利用ください。

★受付時間 毎週金曜日
午前9時30分～11時30分
★問い合わせ先 県動物指導
センター（笠間市日沢47）



中部太平洋とフィリピン 慰霊巡拝参加者募集

厚生省主催の慰霊巡拝の参加者を募集しています。

◆中部太平洋地域

◇期間 2月28日～3月5日

◇参加者負担金（集合地までの交通費などは含みません）

- 1班（トラック諸島） 217,800円
- 2班（マリアナ諸島） 168,200円
- 3班（パラオ諸島） 220,700円

◆フィリピン

◇期間 3月5日～12日

◇参加者負担金（集合地までの交通費などは含みません）

- 1班（カバナツアン・アゴー） 161,900円
- 2班（セブ・レイテ） 173,400円

◆参加できるのは次の方々です。

●今回の慰霊巡拝を行う戦域の戦没者の遺族。ただし、過去に政府の実施したこの戦域の慰霊巡拝に参加したことのない方。

●原則として75歳以下の健康な方。

◆参加希望者は、1月18日までに内申書を提出してください。

※詳しくは、市役所社会福祉課へ。

☎ (23) 1111 内線156



ミャンマー(旧ビルマ) 慰霊巡拝参加者募集

厚生省主催の慰霊巡拝の参加者を募集しています。

◆期間 3月20日～27日

◆参加者負担金（集合地までの交通費などは含みません）

- 1班（バガン・マンダレー方面） 247,200円
- 2班（トンゲ・マイクテラー方面） 236,600円

◆参加できるのは次の方々です。

●今回の慰霊巡拝を行う戦域の戦没者の遺族。ただし、過去に政府の実施したこの戦域の慰霊巡拝に参加したことのない方。

●原則として75歳以下の健康な方。

◆参加希望者は、1月29日までに内申書を提出してください。

※詳しくは、市役所社会福祉課へ。

☎ (23) 1111 内線156

合同読書会参加者募集

◎日時 1月24日 午前10時～

◎場所 石岡市立図書館

◎テキスト「夢の椅子」

大原富枝著・中央公論社刊

◎助言者 三輪 俊 元杉並小学校長

読書好きの方、これから読書会を作りたい方、気軽にご参加ください。

テキストは、図書館で貸し出ししています。

※詳しくは、市立図書館へ。

☎ (24) 1507

国道6号（貝地）で道路工事

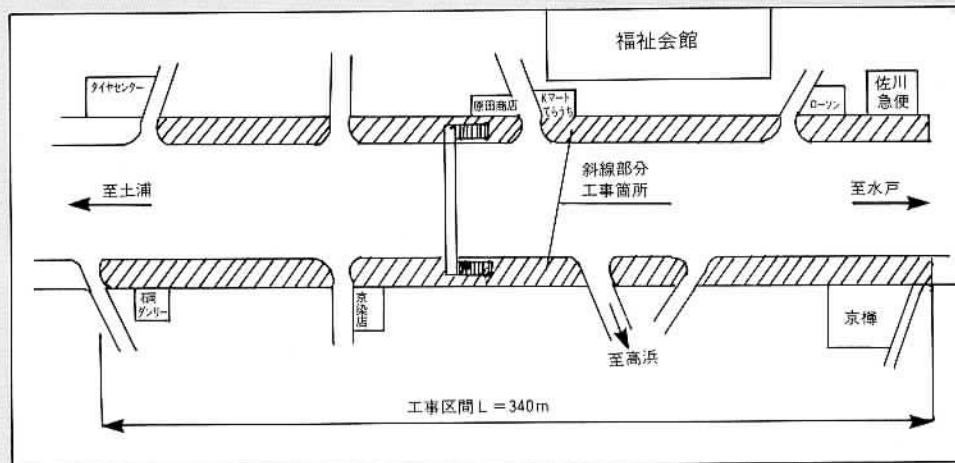
平成2年12月下旬～平成3年3月下旬まで貝地地区の国道6号で、340mの区間、道路工事を行います。

ご理解とご協力をお願いします。

◎作業時間 午前8時～午後5時

※工事についてのお問い合わせは、建設省土浦国道出張所へ。

☎ 0298 (24) 7777



☎ 0296 (72) 1200
水戸芸術館スケジュール

★中村絃子ピアノ公開レッス
ン6 2月24日 入場料千円

1月10日前売開始

★開館一周年記念コンサート
3月17日

堤剛チエロ・リサイタル

3月24日

園田高弘ピアノ・リサイタル
3月31日

堀米ゆず子ヴァイオリン奏

★真夏の夜の夢

3月3週間（金、土、日）

出演 劇団ACM

★野村万作抄

4月5日・6日・7日

出演 野村万作、他

★オペラの花束をあなたに

4月7日

★工藤重典（フルート）&リ

チャードシーゲル（チェンバ

ロ）4月21日

★不思議の国のアリス

5月3週間（金、土、日）

出演 劇団ACM、他

★ディオニソス―喪失の様式

をめぐつて

5月31日、6月1日・2日

主演 劇団ACM、他

※詳しくは、水戸芸術館へ。

音楽は、

☎ 0292 (27) 8118

演劇は、

☎ 0292 (27) 8123

子ども・家庭110番

0292 (26) 4154

子どもと家庭の悩み、どん

なことでもお電話ください。

●乳幼児の食事、睡眠。

●知恵の遅れや身体の障害。

●盗み、家出。

●子どものほめ方、叱り方。

●しつけ。

●ご相談は、専門の相談員が

応じます。秘密は固く守りま

す。

★受付日時 月曜から土曜

午前9時～午後8時

（日曜・年末年始は休みです）

―県中央児童相談所―

お詫びと訂正

市報12月15日号No.437表

紙の「市内9小学校でもきつ

き」は「もちつき」の間違い

でした。

お詫びして訂正します。

まちの できごと



▲牛久市自然の森で体験学習 (11月17日)

牛久市自然の森への自然観察、体験学習が行われました。バスの中では、霞ヶ浦情報センター主任研究員の沼沢篤さんによる水を中心にした環境問題の説明。また、自然の森では、緑を満喫した35名の参加者たちです。

「霞ヶ浦を取りまく環境と水問題」

講演会

茨城県内水面水産試験場の浜田篤信環境部長による霞ヶ浦を取りまく環境と水問題について、講演会を開きます。魚介類を通して見る霞ヶ浦の水質についての分かりやすい説明です。

お気軽にお越しください。入場料は無料です。

☆日 時 1月18日 午前10時30分～12時

☆会 場 東地区公民館 ☆定 員 70名

☆参加希望者は、1月16日までに電話で市役所公害対策係へお申し込みください。

この講演会は、「今、環境を考える」をテーマに5回シリーズで行っています。第1回は、牛久市自然観察の森での自然観察。第2回は、農薬問題と新化学物質による環境影響講演会。今回が第3回です

〔第4回。資源の回収とゴミ処理問題〕

☆講 師 安田八十五 筑波大学助教授

☆日 時 2月8日 午前10時30分～12時

☆会 場 府中地区公民館

〔第5回。"地球規模"の環境問題について〕

☆講 師 北野 大 工学博士

☆日 時 2月23日 午後2時～3時30分

☆会 場 石岡市民会館

※以上の講演会についてのお問い合わせは、市役所公害対策係へ。 ☎ (23) 1111内線142

眠くなったとき以外はいつもご機嫌な耀平君は、お客さんが来ると、ニコニコとお出迎えします。耀平君が好きなのは、お散歩とお風呂。



入りのクマのぬいぐるみで遊ぶ耀平君に、お母さんから、「健康で、人の気持ちの分かる子になってね。でも、元気が一番」

こんにちは 赤ちゃん

●富田 耀平 くん

八カ月
府中四丁目

水の音がすると、蛇口に近づいていきます。

お母さんの善子さん(26)

が料理をしているときは、歩行器に乗って「おかあさんといっしょ」をおとなしく見ています。お気に入りのクマのぬいぐるみで遊ぶ耀平君に、お母さんから、「健康で、人の気持ちの分かる子になってね。でも、元気が一番」

▲石岡青年会議所にJCSクール推進賞！

このほど、石岡青年会議所が、全国でも卓越した活動を認められ、JCSクール推進賞とちくわ一年分を受賞しました。



編集後記

これは女房には内緒なのですが、私は古本屋へ行くといついつい古書を何万円も買込んでしまっています。

あのうず高く積まれた書物の山と本棚の谷間に挟まれると、自分の無知さと愚かさを思い知らされます。民俗・歴史・自然・文学・マンガ、どの分野の本を見ても、人間の知恵と勇気がいっぱい詰まっているので、欲しくなってしまう。一般の書店とは違って、古本屋には過去から現在までの出版の歴史が、寄せ鍋のように散らばっています。

最近の古本の収量は、明治二十二年に出版された「茨城縣民必携」という三十ページの小冊子で、定価は八千円。何と編集者は我が祖父で、思いがけない本との出会いでした。その他にも様々な名著・良書も見つけ、その一割程度を購入しましたが、残りはお金もないので、じっと我慢。欲しいものを全部手にいれた場合には、空しさが残ると自分を慰め戒めます。

蕪村の句は警告します。
牡丹切って

気衰えし 夕べかな
何事も、眺めているうちが
花なのでしょうか……。